

## 令和4年度南予地方局予算 事業実施状況

予土県境サイクリングブランド開発事業 .....	1
南予企業人材確保促進事業.....	2
障がい者介護事業就労促進事業 .....	3
南予儲かる農業人材育成事業.....	4
高級菓子用くだもの産地確立事業 .....	5
林材業人材育成事業 .....	6
八幡浜地域人材定着促進事業 .....	7
種用サトイモ生産体制確立事業 .....	8
西宇和地域柑橘集落営農組織支援事業.....	9

## 予土県境サイクリングブランド開発事業

担当課	地域政策課
事業期間	R4～6 年度
予算額	3,023 千円

### 【事業の実施状況】

国道 381 号等で繋がる愛媛・高知の県境地域の誘客促進及び認知度向上を図るため、地元市町等と連携し、新たなサイクリングイベントを開催するとともに、サイクリングコースに組み込むコンテンツ開発に取り組んだ。

#### 1 地域主体のサイクリングイベントの開催

予土県境地域連携実行委員会(愛媛県、高知県、宇和島市、松野町、鬼北町、四万十市、四万十町及び沿線道の駅)事業として実施

##### (1) 散走モデルコースの開発

地元住民、サイクリング・観光街づくりの有識者等で構成するワーキンググループで「散走 モデルコース」を開発(愛媛・高知各1 コース)

##### (2) 散走イベント実証実験

上記の散走モデルコース及び沿線道の駅をつなぐ3つのコースでデジタルスタンプラリーシステム活用したサイクリングイベント(実証実験)を実施

#### 2 サイクリング重点戦略エリアにおける「散走」ブランド定着

「宇和島市から広見川流域を中心とした地域」(宇和島市、松野町及び鬼北町)の地域資源と親和性の高い散走をメインに、観光客にも訴求力のある地域ブランドの開発に取り組んだ。

##### (1) 散走モデルコースに組み込む新規コンテンツ開発

予土県境地域連携実行委員会事業で実施する散走モデルコースに組み込む、新たなコンテンツを宇和島市三間町及び鬼北町で開発

##### (2) 散走をメインにした地域ブランド開発とPR事業

当エリアでの散走の魅力について統一コンセプトを造成するとともに、コンセプトの視覚化を図るため、愛称、ロゴマーク及びキャッチコピーを制作

## 南予企業人材確保促進事業

担当課	商工観光課
事業期間	R4～6 年度
予算額	1,450 千円

### 【事業の実施状況】

南予の企業や産業の魅力を若者世代にPRするため、地元企業に対して自社の魅力と南予地域で就職した際の将来像を効果的に発信するノウハウを構築するとともに、高校生に対しては南予地域で就職した際のライフスタイル等を明確にし、南予地域で働き・暮らすことの魅力を再確認できる機会を提供することで、若者の地域外への流出防止に取り組んだ。

#### 1 南予企業の魅力発信力向上セミナー

開催:2回

講師:愛媛県よろず支援拠点コーディネーター2名

(宇和島会場) 開催日:令和4年5月18日(水) 参加者:18社20名

(八幡浜会場) 開催日:令和4年5月18日(水) 参加者:26社30名

#### 2 高校生を対象とした企業の魅力発信イベントの実施

開催:11回(南予管内県立高校11校・各1回)

参加者:企業延べ222社、高校生1,095名

期間:令和4年10月～令和5年2月

#### 3 南予企業の魅力発信に係る連絡会議の開催

対象者:南予管内の高校20校の進路・就職担当教諭

・年度初め担当者会:令和4年4月5日(火)(リモート開催)

・年度末担当者会:令和5年3月24日(金)(リモート開催)

#### 4 南予元気企業紹介パンフレットの作成

対象者:南予管内に事業所を有する企業

・計28社分のパンフレットを作成、管内県立高校に配布するとともに、  
県HPに公開

## 障がい者介護事業就労促進事業

担当課	地域福祉課
事業期間	R4～5 年度
予算額	1,005 千円

### 【事業の実施状況】

障がい者の就労先の選択肢が少ないことに加え、高齢化が著しく介護人材の確保が求められる南予地域において、障がい者の介護事業への就労を支援することで、賃金工賃の向上と介護人材の確保を図るための支援を行った。

### 1 意向調査

福福連携に関する意欲、既に取り組んでいる業務内容や今後委託可能と思われる業務内容について管内の事業所へアンケート調査を行い、委託可能な事業所や業務内容の把握を行った。

- ・障がい事業所への意向調査

令和4年5月実施、管内 56 事業所中 29 事業所から回答

- ・介護事業所への意向調査

令和4年8月実施、管内 222 事業所中 58 事業所から回答

### 2 福福連携検討会議

障がい者の介護事業所での就労の可能性や双方にメリットのある持続可能なビジネスモデルの構築について各事業所と検討会を実施した。

(実施回数)3回

6月14日西予市、6月29日宇和島市、10月12日大洲市

(参加者)障がい事業所、介護事業所等

### 3 就労体験モデル事業

障がい者を介護事業所で体験就労させ、作業可能な業務の切り出しや受け入れに係る体制整備、実際に生じる課題と対応策について整理した。

## 南予儲かる農業人材育成事業

担当課	地域農業育成室
事業期間	R4～6年度
予算額	3,200千円

### 【事業の実施状況】

人口減少が進む南予地域において、農業を始める若者が将来にわたり安定した収入を確保し、地域に定着してもらえるように、管内の普及拠点や関係機関が一体となって新規就農者等の重点指導を行い、年収1千万円を確保できる農業者の育成を目指して活動を行った。

### 1 新規就農者へのフォローアップ体制の構築

#### (1) 担い手育成戦略検討会議の開催(3回)

円滑な事業推進に向け、各地区の普及指導員が情報を共有。

#### (2) 儲かる農業推進チームによる重点指導

南予管内の新規就農者等のうち重点対指導対象者60人に対し、関係機関や先進農家で組織した推進チームによる巡回による相談活動を延べ483回実施、指導内容等は、指導記録簿に保存し、普及指導員間で指導状況や課題を共有。

### 2 南予の産地特性を踏まえた年収1千万円モデルの構築

#### (1) 新品目・新技術を取り入れた南予の年収1千万円の経営指標を作成

地域の特性や新技術・新品目を組み合わせた年収1千万円モデル(経営指標)18類型を作成

#### (2) 年収1千万円モデル(経営指標)に基づく新規就農者への重点指導

スマート農業技術や新品目等の導入に向けた実証ほを設置し、地域での適応性や課題等について検証するとともに、動画資料の作成や現地研修会等を開催した。

### 3 儲かる農業・交流セミナー(開催場所:大洲市)

南予管内の新規就農者に加え、将来の担い手となる農業高校生らが一堂に会し、新規就農者の事例発表や先輩農業者からのアドバイス、大学教授による「肥料高騰対策を踏まえた肥培管理」の講演などを実施した。

**高級菓子用くだもの産地確立事業**

担当課	地域農業育成室
事業期間	R4～6年度
予算額	1,100千円

**【事業の実施状況】**

宇和島市、松野町、鬼北町では、(株)源吉兆庵の工場誘致を機に、菓子用くだもの4品目(くり、もも、かき、びわ)の産地化に取り組んでいる。菓子用くだものを安定供給するため、(株)源吉兆庵を含めた協議会で進捗や課題を共有しながら、高収量・安定生産、地域農産物の加工利用提案、農業法人等への大規模生産の働きかけなどに取り組んだ。

**1 加工用くだものに特化した省力・多収技術の確立****(1)もも**

早採り栽培の確立とエチレン処理による追熟実証

**(2)かき**

軟化症等を軽減する早採り栽培技術の実証

ポットを用いたかきの大苗育苗の実証

**(3)びわ**

超大型袋を使った袋掛け作業の省力化実証

防鳥ネットを利用した無袋栽培による省力化実証

**(4)省力多収技術動画マニュアル作成**

実証ほ場等を活用した栽培技術の動画撮影

**2 加工用くだもの生産体制強化**

原料供給計画、技術情報を共有し、関係機関が連携して生産量の拡大を図る「源吉兆庵ファクトリーブランド促進協議会」及び「品目ごとの検討会」の開催(4回)

## 林材業人材育成事業

担当課	八幡浜支局森林林業課
事業期間	R4～6 年度
予算額	1,003 千円

### 【事業の実施状況】

高校生を対象に林材業の魅力を再発見する体験研修や、農業者等で林業に関心のある方を対象に技術研修を実施した。

#### 1 林材業の再発見(地元高校生に向けて)

高性能林業機械、ドローン等最新の林業機械の操作研修に加え、製材工場、バイオマス発電所等木材関係施設やCLT建築物の見学を実施した。

○参加者 149 人・5校

#### 2 農業等と兼業する林業人材の育成

チェーンソーを使用した伐木等の業務に係る特別教育を実施し、林業に従事できるとともに災害時の倒木処理を迅速・安全に実施できる担い手を確保した。

○参加者 19 人

## 八幡浜地域人材定着促進事業

担当課	八幡浜支局総務県民室
事業期間	R3～5年度
予算額	2,750千円

### 【事業の実施状況】

八幡浜支局管内における地域おこし協力隊の任期終了後の定住率向上を図るため、起業や事業承継による生業づくりについてオーダーメイド方式の支援を行うとともに、市町担当職員への研修等に取り組んだ。

○支援体制：県、市町、協力隊OB、(公財)えひめ産業振興財団

○カリキュラム(1クール2年)

①地域起業応援スクール(入門編) (実績:1回・受講者 23名)

②地域起業応援スクール(実践編)

・分科会(実績:4回・受講者 13名)

・財団セミナー(実績:2回・受講者8名)

③個別指導・現地研修(実績:延べ 154回・受講者 14名)

④市町職員研修会(実績:1回・受講者 11名)

## 種用サトイモ生産体制確立事業

担当課	地域農業育成室
事業期間	R3～5年度
予算額	600千円

### 【事業の実施状況】

セル苗を用いた種用サトイモの生産技術や保管技術の実証・普及を行うとともに、サトイモ疫病発生防止対策の徹底を図った。

### 1 種用サトイモ生産体制の強化

#### (1)セル苗を用いた種用サトイモの生産実証

- ・作業研修会の実施(2回)
- ・現地におけるセル苗生産の技術実証(5戸)

#### (2)種用サトイモ出荷体制の整備

- ・保管技術の実証(2種類)

### 2 サトイモ疫病発生防止対策

#### (1)ほ場内防除通路の設置(2戸)

#### (2)サトイモ疫病予防啓発活動の実施

- ・サトイモ疫病防止啓発チラシの配布
- ・種用サトイモ生産ほ場巡回
- ・種芋消毒の徹底

### 3 宇和島圏域における水田サトイモの生産振興

宇和島圏域水田サトイモ生産振興協議会の開催(3回)

- ・生産振興の方向性や地域の課題、今後の種芋生産等について検討
- ・構成員:JA全農えひめ、JAえひめ南、管内市町、農林水産研究所、南予地方局農業振興課(地域農業育成室)

## 西宇和地域柑橘集落営農組織支援事業

担当課	八幡浜支局地域農業育成室
事業期間	R3～4年度
予算額	869千円

### 【事業の実施状況】

#### 1 西宇和地域の集落営農組織化・法人化支援

##### ①柑橘集落営農組織支援協議会の運営

JAにしうわ、八幡浜市、西予市、伊方町、各農業委員会、県で構成する協議会において計画を共有した(5月20日、3月7日)。

##### ②組織化・法人化志向集落の掘り起こしと法人化支援

###### ・基盤整備事例研修

農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した、松山市由良地区での基盤整備の取組みと地域での合意形成の方法について視察研修を実施した(9月29日)。

###### ・法人化推進セミナー

管内農業者組織のリーダー等を対象に、法人化のメリット・デメリット、設立に至る背景や設立後の取組みについて事例を紹介した。

#### 2 集落営農法人の経営力強化(伊方町中浦集落)

##### ①栽培技術の向上

愛媛果試第48号(紅プリンセス)の栽培技術及びマルドリ管理研修会を開催した(5月20日、2月20日)。

##### ②経営管理の高度化

中小企業診断士によるワークショップ形式で経営改善計画を策定した(8月23日、2月10日)。

##### ③新規就農者確保

新たな担い手を確保するため、首都圏等で開催される就農フェアへの参加(1月14日東京、2月4日大阪)や、就農支援チームでの研修を支援し、新たに2人の新規就農者を確保した。

##### ④基盤整備事業の導入に向けた農地活用計画の策定

山口県周防大島町で園地整備について視察研修を実施した(10月11日)。